

会 議 記 録

会議名称	第1回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託候補者選定委員会	
日 時	令和6年8月28日(水) 午前10:00~11:00	
場 所	杉並区役所分庁舎 4階A・B会議室	
委 員 名	東京都健康長寿医療センター研究所 博士 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区区民生活部地域施設担当課長 細谷 裕史	
事 務 局	保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康德 保健福祉部高齢者施策課いきがい活動支援係員 宗形 亮汰、田村 喜美子、 佐野 菜々花、山口 卓司	
配 布 資 料	事 前	なし
	当 日	次第 資料1 ゆうゆう館協働事業実施団体受託候補者選定委員会名簿 資料2 杉並区プロポーザル選定委員会条例 資料3 選定委員会スケジュール(案) 資料4 募集要項(案) 資料5 審査基準(案) 資料6 第一次・第二次審査表(案) 委嘱状 諮問書
会 議 次 第	1 開会 2 委員紹介 3 会長の選出・会長職務代理の指名 4 議事 (1) スケジュールについて (2) 募集要項について (3) 審査基準及び審査表について (4) その他 5 閉会	

事務局による資料確認と委員の自己紹介を行った。

会長の選出に当たり、藤木委員より鈴木委員を会長に推薦する発言があり、この提案に対する全委員の賛同をもって、鈴木委員を会長に選出した。

会長職務代理の指名に当たり、鈴木会長より、藤木委員を会長職務代理とする案が提示され、これに対する全員の賛同をもって、藤木委員を会長職務代理として選出した。

一、議事

(1) スケジュールについて
今後のスケジュール（資料3）について事務局より説明し、各委員の了承をもって決定した。

(2) 募集要項（案）について（「・」は委員の発言、「→」は事務局の回答を示す）

募集要項（資料4）について、事務局より説明した。

- ・選定された以降の実際の実行の取組状況の確認方法について質問があった。
→3年毎に実施する事業評価において取組状況を確認する旨回答した。
- ・委託料について質問があった。
→委託料については、毎年改定している旨回答した。

募集要項について、全委員の了承により原案どおり決定した。

(3) 審査基準（案）・第一次・第二次審査表（案）について（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

審査基準（案）・第一次・第二次審査表（案）について、事務局より説明した。

- ・昨年度の選定結果への反響について質問があった。
→昨年度の選定結果への反響について回答した。
- ・現状の運営状況について、利用者アンケートについて質問があった。
→各館の運営状況について共有するとともに、利用者アンケートを参考情報として追加資料とする旨回答した。

審査基準及び、第一次・第二次審査表について、全委員の了承により原案どおり決定した。

事務局より今後のスケジュールの確認を行い、閉会した。

会 議 記 録

会議名称	第2回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託候補者選定委員会	
日 時	令和6年11月20日(水) メール開催	
場 所	(メール開催)	
委 員 名	東京都健康長寿医療センター研究所 博士 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区区民生活部地域施設担当課長 細谷 裕史	
事 務 局	保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康徳 保健福祉部高齢者施策課施設担当係長 藤澤 和彦 保健福祉部高齢者施策課いきがい活動支援係員 宗形 亮汰	
配 布 資 料	事 前	応募書類(副本)一式 審査基準 第一次審査表 共通質問(案) 利用者アンケート集計表 (参考)第一次・第二次審査表
	当 日	なし
会 議 次 第	(1) 第一次審査 (2) メール会議 ①第一次審査集計結果について ②二次審査(ヒアリング審査)の共通質問(案)の内容について	

<p>主要な発言（会議の要旨）</p> <p>会議の結果及び</p>	<p>事務局より、資料一式を各委員宛てに送付した。</p> <p>(1) 第一次審査 11月15日（金）を締切とし、各委員が第一次審査を実施した。</p> <p>(2) メール会議 11月20日（水）に第一次審査集計結果及び、二次審査（ヒアリング審査）の共通質問（案）の内容について、会議を開催した。</p> <p>①第一次審査集計結果について 第一次審査集計結果について、各委員同意のもと結果が確定し、全応募事業者を第一次通過団体とすることとした。</p> <p>②二次審査（ヒアリング審査）の共通質問（案）の内容について 共通質問（案）について、委員からの意見を反映した修正を行うことで、全委員の同意を得た。</p>
------------------------------------	--

会 議 記 録

会議名称	第3回杉並区立ゆうゆう館協働事業実施団体受託候補者選定委員会	
日 時	令和6年11月29日（金） 午前9：00～午後00：30	
場 所	杉並区役所分庁舎 4階 A・B会議室	
委 員 名	東京都健康長寿医療センター研究所 博士 鈴木 宏幸 聖学院大学 心理福祉学部心理福祉学科 准教授 長谷部 雅美 明治大学 経営学部非常勤講師 藤木 千草 杉並区高齢者担当部長 徳嵩 淳一 杉並区区民生活部地域施設担当課長 細谷 裕史 ※ 委員1名が欠席	
事 務 局	保健福祉部高齢者施設整備担当課長 海津 康徳 保健福祉部高齢者施策課施設担当係長 藤澤 和彦 保健福祉部高齢者施策課いきがい活動支援係員 宗形 亮汰、田村 喜美子、 鈴木 直子、佐野 菜々花、 山口 卓司	
配 布 資 料	事 前	なし
	当 日	次第 資料1 第一次 審査結果 資料2 第一次審査 委員別審査表 資料3-1 第二次審査の進め方について 資料3-2 共通質問 資料3-3 共通質問 資料4 第二次審査 採点表 資料5 第二次審査 時間割表
会 議 次 第	1 開会 2 第一次審査の結果について 3 第二次審査の進め方について 4 団体プレゼンテーション・ヒアリング 5 第二次審査の集計結果について 6 選定団体及び実施館の決定・講評等 7 その他 8 閉会	

事務局より、本日の進め方、第一次審査の結果、第二次審査の進め方について説明を行った。

本日プレゼンテーション、ヒアリング（共通質問含む）を行い、第一次審査及び第二次審査の各委員の採点結果を基に本選定委員会の受託候補者を選定する旨、説明を行った。

各団体のプレゼンテーションに対し、ヒアリング（共通質問含む）、審査を行った。

【A団体への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

- ・現在の事業で不十分な点も踏まえ、事業者の他事業の経験・実績をどのように生かすのか質問があった。
→地域団体等との連携について回答した。
- ・実施しようと考えている取組について質問があった。
→同団体の強みを生かした形での区立施設との連携について回答した。
- ・多世代交流を生むことを意識した事業について質問があった。
→同法人が実施している事業を例に挙げ提案事業について回答した。
- ・終活のニーズについて質問があった。
→団体の活動からニーズを把握していると回答した。
- ・施設の副責任者（予定）に対し、運営する際に大切にしたい考え方について質問があった。
→考え方や意気込みについて回答した。
- ・経費について質問があった。
→実施予定の協働事業の特徴を踏まえた経費の算出である旨、回答した。
- ・人員確保等について質問があった。
→新たにスタッフを募集するなどして、人員確保をしていく旨を回答した。

【B団体への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

- ・窓口対応業務の経験について質問があった。
→これまでの経験について、回答した。
- ・現在の団体の会計状況について質問があった。
→現在の団体の会計状況について回答した。
- ・受付業務の従事者の賃金について質問があった。
→賃金の考え方について回答した。
- ・施設のリサーチについて質問があった。
→リサーチを踏まえ、施設の在り方について回答した。
- ・提案事業の種類・数について質問があった。
→団体としての考え方を回答した。
- ・事業の実施に当たり、各所と連携する具体的なイメージについて質問があった。
→各所との連携方法について回答した。
- ・参加費の価格設定と事業のニーズについて質問があった。
→価格設定の経緯とニーズの把握について回答した。
- ・施設の運営体制について質問があった。
→安定的に運営できる旨、回答した。

- ・夜間事業で新規参加者を獲得する為の取組について質問があった。
→PR方法等について回答した。
- 【C団体への主な質疑】**（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）
- ・提案内容の実績等について、質問があった。
→提案内容の実績等について回答した。
 - ・現在の事業の課題を踏まえて、新たに取り組む事業等について質問があった。
→新たに取り組む事業内容について回答した。
 - ・団体全体の収支を踏まえ、今後の事業展開について質問があった。
→団体全体の収支について、団体の認識を回答した。
 - ・受付業務を担う際の利用者対応について質問があった。
→利用者対応の考え方について回答した。
 - ・職員研修を行うに当たり、どのような視点で実施するかについて質問があった。
→職員研修について回答した。
 - ・事業について、団体内でどのような検討を行うかについて質問があった。
→団体内部での事業検討状況について回答した。
 - ・施設のルールへの順守について、質問があった。
→施設を運営するに当たりルールの運用について回答した。
- 【D団体への主な質疑】**（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）
- ・多世代交流の事業の目的とニーズについて質問があった。
→事業に対する団体の考えについて回答した。
 - ・新規事業について、既存事業との違いについて質問があった。
→新規事業と既存事業の違いについて回答した。
 - ・団体全体の収支を踏まえた、今後の事業展開について質問があった。
→今後の事業展開について、団体の考え方を回答した。
 - ・新規の事業について、実現可能性や準備状況について質問があった。
→準備状況について回答した。
 - ・一部の事業の収支について質問があった。
→当該事業の収支について回答した。
 - ・ニーズへ対応するに当たり、新規事業を導入する意図について質問があった。
→新規事業を導入する意図について回答した。
 - ・事業について、参加者獲得の目途や実施の背景、経緯について質問があった。
→地域の変化やニーズを踏まえて提案に至った旨を回答した。
 - ・eスポーツを活用した事業の実施予定について質問があった。
→団体としての対応状況について回答した。
 - ・職員の通常研修とは別に、今後実施したい研修について質問があった。
→業務内容を踏まえ、実施したい研修について回答した。
 - ・地域でのつながりの強化に向けた取組について質問があった。
→今後の方針について回答した。
 - ・団体が実施する事業を通じて、ゆうゆう館の利用が拡大する可能性について質問があった。
→他事業とゆうゆう館との関連について回答した。

【E団体への主な質疑】（「・」は委員の発言、「→」は団体の回答を示す）

- ・ 現在団体として実施している広報について質問があった。
→現在の広報の方法について回答した。
- ・ 事業への新規参加者の有無について質問があった。
→新規参加者がいる旨回答した。
- ・ 男性参加者の参加について質問があった。
→男性の好みを踏まえつつ、男性に向けた事業提案の内容について回答した。
- ・ 団体として実施する事業の課題や困っていることについて質問があった。
→団体として課題と認識している点について回答した。
- ・ 一部事業について、提案に至った経緯について質問があった。
→団体としての経験を踏まえ、提案に至った旨回答した。
- ・ 地域連携の拡大に向けた考え方について質問があった。
→事業を通じて地域連携を深めていく旨回答した。
- ・ 通常の職員研修とは別に、新たに取組んでいる職員研修について質問があった。
→団体の研修実施状況について回答した。
- ・ eスポーツを活用した事業について、検討したことがあるか質問があった。
→eスポーツの実施可能性について回答があった。

各委員の審査終了後、各委員の審査結果を選定委員会内で共有をした。

選定委員の合意の上、第一次審査及び第二次審査における各委員の審査合計点数の平均点の和が全審査合計点数（60点＋72点＝132点）の60%（79.2点）以上の団体のうち、得点上位の団体から順に、希望施設を踏まえて受託候補者を選定し、区へ報告した。

○主な意見

【選定された団体について】

- ①実績への信頼もあり、事業内容も厚みがあったため、点数が高くなった。
- ②ニーズの把握も含め、ある程度システムチックに実施しようとする姿が見て取れ、施設運営に当たっては、そのような姿勢を持ちつつ、新しい時代にどう対処するかという点も含めて取組んでいくことに期待したい。
- ③堅実に取り組みつつも、油断せずに、意欲的に取り組む姿勢を持っていた。

【選定されなかった団体について】

<共通する意見>

- ①選定されなかった団体にも、期待できる部分があった。それらの団体も、組織作りや経験を積み重ねることで、新たな候補者として十分可能性があると思う。
- ②提案内容は、考えられていたものの、他の団体と比較して企画力などは、及ばない部分もあった。
- ③受託を希望する施設の現状と今後の展望という点において、物足りなさがあった。
- ④プレゼンテーションにおいては、施設の良さを説明している反面、その施設で自らの団体が事業を実施するメリットのアピールが不足していた。

<団体毎の意見>

- ①決算書類の数字に見にくい箇所があり、提出する書類の丁寧さなども見られる

かと思う。
②責任ある者が従事できる運営体制を築くことができるか不安があった。また、
団体として事業の研究不足の部分もあった。